



新型コロナ感染対策で議論を深める

第13-1号からのつづき



渋谷駅で最初2人感染者が出て、そこから職場でトータル12名の感染者が出た。簡単に言うと感染者が出た⇒一緒に仕事をしていた人のPCR検査実施⇒陰性⇒実は感染していた⇒どんどん職場の中で広まってきた。

問題は会社がその日の出番者全員にPCR検査をしていない。濃厚接触者しか検査をしていなかった。もう一つは会社から休日に、支社でのPCR検査を求められたのに超勤がつかない等言われるなど、その都度対応が変わってきている。

妊娠している女性社員達が本当に困っている。基礎疾患を持っている方、シングルマザーで自分が罹ったら子供の事どうしよう、など、そのことを現場で言ってもなかなか解決しない。一人ひとり悩まされている状況が出てきた。

このことを機関として取り上げなければならないと、執行委員会や東京支部でも調査し、最終的に支社での団交が出来るようになった。ただ、開催に1ヶ月位かかった。

問題点を整理して団体交渉へ

団体交渉の中でどのくらい感染者が出ているのか、会社から明らかにされたのは、支社内JR本体で大体、7月は40～50人、8月90人 9月17日時点で10人位出ている。

こういう状況の中、全社員のPCR検査をすべき、と求めたが、会社の言い分は「検査してもその場で陰性でもその後陽性になるかもしれない。全員の検査は適当ではない。」「産業医と相談し危ない人だけ対象に行っていく」という考え方であった。

検査して感染者が増え、要員が足りなくなる事が会社にとって一番まずい事。そんなニュアンスを感じた。

危機管理本部は、業務遂行する上で最低限の要員の確保。それ以外は現場の判断でテレワークなり進めて下さい。様々な問題がある人も対象に行って下さい、と言っているにもかかわらず、渋谷ではそうはなっていなかった。やはり、業務を優先していたからである。

結局、職場でモノを言うてくしかない。職場の中で「本社の指導に基づき感染対策をとれ」と現場で言えるかどうかが大切。

その後、妊娠されている方はすべてテレワーク、基礎疾患の方の方は現在も週2回のテレワークを認めさせた。

緊急事態宣言が明けても職場で様々な事情がある場合については、現場の判断でできることはやるとの回答。今後、職場でどう取り組めるかが組合としての課題だし、職場でモノを言える仲間を増やしていく必要がある。



JESS職場

家族が今年に入り2回コロナに感染した。自分も2回ほど自宅待機を余儀なくされた。家で誰か熱がある人は、通勤通学は全部ストップさせられる。

会社は東京都のやり方を研究、会社のマニュアルがあり、朝昼晩の体温・家族の様子も聞かれる。ひどいのは、妻が熱を出す2週間前の自分の行動履歴を出せと言ってきた。とぼけて出していないが、役員と相談してプライバシーの問題だろうと話した。東京都のやり方を見て会社として手を打っていかうというのが見える。

他の駅の例ではJESSの友人が感染しICUに担ぎ込まれた。10日間何をしていたのかわからなかったそうだが、会社は本人に連絡しても確認が取れなく、保健所に電話したところ「個人のプライバシーの問題をなぜ会社が。個人情報です」と注意された。会社は悪どい事をやっている。お互いに気をつけたほうがいい。

感染すると家族が孤立する。労働組合として考えよう。情報、会社の動き、行政の動き、メモをしておくことが大切、記録しておく事が必要。JESSでもマスク・消毒液など、言わないと持っていない。声を出していかないといけない。

司会 佐藤

労働組合としてどうすべきか、しっかり感染対策をとれ、と言っていく必要はある。私も団交に出たが団交だけでは解決にならないというのが現状。今回の団交では緊急事態宣言が解除になっても、妊婦・育児中の社員を免除やテレワークにすべき、との要求に対し、「現場の管理者に相談してくれ」との回答が得られた。まずは現場できちんと声を上げていかなければいけない。駅で働いている人たちはどこで感染するかわからない。1人感染したらそれ以上増やさない事を会社に求めていく必要がある。支部として引き続き各職場の感染状況や感染対策を調査し、必要であればその都度団交の開催を求めていく。

職場の議論と総括運動を大切にしよう

今回の「学習交流会」で、いろいろな意見が出された。コロナ禍でなかなか集まって話し合うことができなかったが、今後は十分な感染対策をとりながら、「集まる場」を設けていく必要がある。

国労組合員も高齢化し、次の世代へ運動を引き継いでいくことが急務となっている。そこで問われるのは、この間国労運動の柱だった「職場での話し合い」「学習と交流」を基本に、機関としての運動の提起、そして総括することがなにより重要だ。

国労東京支部として、今後もこのような場を設けて、職場で頑張っている仲間とともに運動を展開していく決意である。



国労東京支部第2回定期大会

日時 10月30日 受付10時～
開会10時30分

場所 田町交通ビル

※コロナ禍により傍聴体制はとりませんので、了承願います。